

急速に進む少子高齢化に対応すべく、我が国では国民一人ひとりの健康づくりを視点に据えた様々な取り組みが段階的に進められてきました。

データヘルス計画とは、疾病予防に着眼した保健事業を、健康診断やレセプトデータ※に基づいて効率的、効果的に実施するための実施計画です。すべての健保組合は国民の健康寿命の延伸を図るためのしくみとしてデータヘルス計画を実施することを国から求められています。

平成27年度から第1期データヘルス計画が始まり、平成30年度からは第2期、令和6年度から第3期データヘルス計画が始まります。

ダスキン健康保険組合は、ありたい姿として「生きがいのある健康で心も豊かな生活の実現を図るとともに、会社の健全な発展に努め、人に社会に喜びのタネをまき続ける」を掲げて連携し、組合員の皆さまの健康増進を目指して以下の内容にて運営を行います。

※診療報酬明細書の通称。医療機関が患者さんに対して行った医療行為や傷病名、薬の処方内容などの内訳を記したデータ

ダスキン健保の健康課題に対する対策の方向性

健康課題	対策の方向性
疾病の早期発見 現状 ●平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ●35歳以降から新生物(がん、上皮内新生物、良性新生物、腫瘍など)の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ●55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。	▶多様な定期健康診断による病気の早期発見により早期治療につなげる。
生活習慣病リスクへの対策 現状 ●虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生(平均50歳代) ●心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症(人工透析)の発症者が増えている。	▶40歳未満への保健指導を実施し、早い段階で気づきを促す。 ▶高リスク者へ重症化する前の医療機関受診や生活習慣の改善を促す。
がんの早期発見、早期治療 現状 ●令和4年度医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ●中でも婦人科系(乳房)の医療費が高く、受診者数も多い。	▶早期発見により死亡率を下げる効果のある5大がん(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)について、多様な受診機会を毎年がん検診を受診できるようにする。
家族の特定健診受診率向上 現状 ●本人・家族ともに特定健診受診率は全国平均を上回っているものの、家族の特定健診受診率はまだ低い。	▶高頻度・複数のアプローチチャネルにより、ファミリー健診(F2コース、F3コース)の受診を促す。
生活習慣の改善 現状 ●健康診断の問診票にて「朝食抜きが週3回以上」と回答する方が、全国平均に比べ高い割合。 ●喫煙率は男女ともに全国平均より高い。	▶健康に関する情報提供を行い、組合員が継続的に健康維持、増進に取り組める環境を整え、ヘルスリテラシー向上による健診検査値の底上げを目指す。 ▶喫煙による中長期的な健康被害を予防するため禁煙プログラムを継続して実施する。
特定保健指導の実施率向上 現状 ●特定保健指導実施率は全国平均より高いが、国の目標値には届かない。 ●特定保健指導対象者のうち、申込者・未申込者で翌年以降の改善割合をみると、申込者46.5%、未申込者20%である。(特定保健指導の実施が改善効果がある)	▶生活習慣の改善によるメタボリックシンドローム解消・健診検査値改善を目指す。
生活習慣病リスク該当者の医療機関受診率の向上 現状 ●医療機関未受診の方が多い。肝機能・腎機能8割、脂質7割、血圧4割、血糖1割が未受診。	▶生活習慣病リスク該当者への受診勧奨を継続して実施する。

ダスキン健保が実施していく保健事業

ありたい姿

働きさんとその家庭の健康維持・増進に取り組み、生きがいのある健康で心も豊かな生活の実現を図るとともに、会社の健全な発展に努め、人に社会に喜びのタネをまき続ける

目的

生産性の向上

健康寿命の延伸

働きさんだけでなく家族も含めた
健康維持・増進

医療費の適正化

個別の事業

定期健康診断の受診

多様な定期健康診断により病気の早期発見・早期治療につなげる。

- 定期健康診断(対象:被保険者、任意継続被保険者)
- 配偶者向け定期健康診断(対象:被扶養配偶者*)
- 家族向け定期健康診断(対象:40歳以上の被扶養家族*)
※被扶養配偶者、被扶養家族は任意継続被保険者の被扶養配偶者、被扶養家族を含む
- 人間ドック健診
(対象:ダスキン健保に加入している40歳以上73歳までの3歳区切りの年齢の方)

がん検診の受診促進

早期発見により死亡率を下げる効果のある5大がん*について、多様な受診機会でも毎年受診を目指す。

※5大がんとは、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん

- 提携医療機関での定期健康診断にがん検診(胃、婦人科、大腸便潜血)をセット
- 各種がん検診の補助金制度
- 婦人科巡回検診(一部事業所)、大腸郵送検診

生活習慣病予防

生活習慣の改善によるメタボリックシンドローム解消・検査値改善を目指す。

- 特定保健指導(対象:40歳以上被保険者・被扶養者の健診結果データから抽出)
- Under40保健指導(対象:40歳未満で特定保健指導レベル該当者)
- 服薬者向け保健指導(対象:服薬者で特定保健指導レベル該当者)

重症化予防

組合員の生活習慣改善による生活習慣病の重症化を予防する。

- リスク該当者への受診勧奨
- 心・脳血管疾患再発予防や糖尿病重症化予防のための重症化予防プログラム
- 喫煙による中長期的な健康被害を予防する禁煙プログラム

健康課題の共有

事業主(事業所)とのコラボヘルスを推進する。

- 事業所別健康状態を可視化・共有する「健康白書」「健康スコアリングレポート」
- 組合員の健康情報の共有と活用「健康管理システム」

健康意識 (ヘルスリテラシー) の向上

健康に関する情報提供を行い、組合員が継続的に健康維持・増進に取り組める環境を整え、組合員のヘルスリテラシー向上による生活習慣、健診検査値の底上げを行う。

- 健康情報の発信(ホームページ、広報誌santé、公式LINE)
- ジェネリック差額通知
- 総合ヘルスケアウェブサービス「kencom」
(健康イベント「みんなで歩活」、健診結果の閲覧など)
- 事業所単位での健康増進活動「あすなる活動」

基盤

事業所(会社)、健保組合、労働組合(働きさん代表)による三位一体の体制で
コラボヘルスによる健康増進

コラボヘルス:保険者(健保組合)と事業主(会社)が連携して働きさんの健康づくりを推進すること。